環 境 経 営 レ ポ ー ト

運用期間　2021年6月1日～2022年5月31日
発行時期　　2022年7月3日

木 沢 建 設 株 式 会 社

環 境 経 営 方 針

＜ごあいさつ＞

木沢建設㈱は、創業以来、「自然と共生するものづくり」という考えのもと、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ美しい自然、豊かな地球を保ち、次の世代へと地球環境を保全していく活動を進めながら工事を行っていくことを第一と考えています。

木沢建設㈱は、社会的使命をもって、長年の経験と幅広い技術力を駆使し環境に配慮した施工管理、一貫した工事手法により、適正で安全・迅速・確実を目標にお客様の信頼、信用を裏切らないを数々のサービスに努めております。また、工事後の処理方法においても、限りある資源の有効活用を目標にし、可能な限り再資源化するのは、私たちの役割と考え、廃棄物分別の徹底によるリサイクルはもとより、社員一人一人が環境を守り、資源を大切にという意識をもって「循環型社会」への構築に向け、日頃より研鑽を続けております。

＜環境理念＞

当社は、建設事業を通じてその技術力と創造力によって地域社会と地球環境に貢献する。また、建設業の発展と自然環境の保全を重視した事業活動を推進することにより、高い品質提供と、信用と信頼を獲得し、さらなる社業の発展と循環型社会構築を目指す模範企業となることを目標とする。

＜活動方針＞

当社は、建設業等の事業活動を通じて次の項目に取組み、環境経営を継続的に改善します。

（1）環境関連の法令及び条例、社内ルールを遵守します。

（2）環境負荷を削減するために次の活動に取り組みます。

①二酸化炭素排出量の削減

②水資源使用量の削減

③グリーン購入の推進

④事業所周辺の清掃等社会貢献（ポートアドプト等）

⑤再資源化率の増加（リサイクル率のアップ）

⑥環境配慮商品・サービスの提供並びに施工の推進

⑦事務用紙使用量の削減

（3）この環境方針は当社全従業員に周知するとともに、環境活動レポートを公開する。

（4）建設現場に置いて環境への取り組みを自己チェックし、環境負荷を削減する。

制定日　平成21年　2月　15日
（第一回改定日　平成22年　3月　24日）
（第二回改定日　平成23年　9月　17日）
（第三回改定日　平成23年　10月　26日）
（第四回改定日　平成27年　5月　11日）
（第五回改定日　令和　1年　5月　1日）
（第六回改定日　令和　4年　6月　1日）

木沢建設株式会社
代表者氏名　西本　日出世

組 織 概 要

認証・登録の対象範囲

登録範囲は全組織・全活動を対象とする。

（1） 名称及び代表者名

木沢建設株式会社
代表取締役　　西本　日出世

（2） 所在地

本社　　徳島県那賀郡那賀町木頭字前田７－１
資材置き場　　徳島県那賀郡那賀町出羽

（3） 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者　環境管理責任者　：　西本　日出世　　TEL：　0884-65-2412
担当者　環境事務局　　：　西本　拓矢

（4） 事業内容

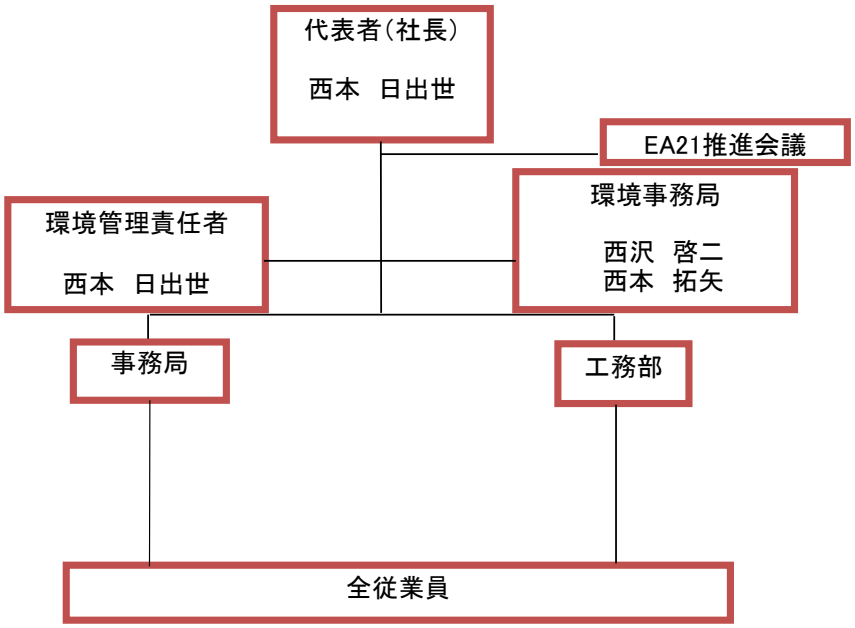
土木工事業、とび・土工事業、しゅんせつ工事業

（5） 事業の規模

工事高　　464百万円　　（令和4年　5月決算）

従業員数　　16　人
事業所建物　延べ床面積　　238　m2
資材置き場　　面積　　5819　m2

3，木 沢 建 設 株 式 会 社 組 織 図



環境経営目標と実績・年次

・年間の環境経営目標とその実績

2021年（ 2021年 6月 ～ 2022年 5月）

項目（目標項目）（単位）	実施区	年度別環境目標 基準値 4月～3月	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 目標値	2021年度 実績	2022年度 目標値	2023年度 目標値
①二酸化炭素排出削減	事務所	11,006.1	6,927.2	8,241.7	10,786.0	9,133.6	10,730.9	10,675.9
（kg-CO_2）	現場	142,009.2	59,435.6	177,893.1	139,169.0	94,984.6	138,459.0	137,748.9
		基準値	1.0%削減	1.5%削減	2.0%削減		2.5%削減	3.0%削減
二酸化炭素排出原単位（CO2/売上高）	事務所	0.33	0.27	0.21	0.33	0.20	0.32	0.32
	現場	3.55	2.54	2.54	3.50	2.05	3.48	3.46
		2018年基準値	0.5%削減	1.0%削減	1.5%削減		2.0%削減	2.5%削減
②電気購入量	事務所	8,659.0	7,055.0	8,722.0	8,139.5	8,672.0	8,096.2	8,052.9
（kwh）	現場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		基準値	5%削減	5.5%削減	6.0%削減		6.5%削減	7.0%削減
③燃料	事務所	2,678.7	1,376.4	2,018.0	2,518.0	1,810.0	2,504.6	2,491.2
（L）	現場	62,063.7	24,026.5	70,068.5	58,339.9	38,031.7	58,029.6	57,719.2
		基準値	5%削減	5.5%削減	6.0%削減		6.5%削減	7.0%削減
④事務用紙削減量	事務所	71,600	60,200	67,500	67,304	65,400	66,946	66,588
（円）	現場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		基準値	5.0%削減	5.5%削減	6.0%削減		6.5%削減	7.0%削減
⑤環境配慮商品・サービスの提供・施工の推進（%）	現場	100%	200%	220%	240%	240%	260%	280%
		基準値	100%増加	120%増加	140%増加		160%増加	180%増加
⑥グリーン購入の推進（品）	事務所	未記録	9.0	10.0	11.0	11.0	11.0	11.0
		基準値	9品新規購入	10品新規購入	11品新規購入		11品新規購入	11品新規購入
⑦一般・産業廃棄物の再資源化率推進（%）	一般廃棄物	45.95	50.00	50.33	47.79	46.66	48.02	48.25
	産業廃棄物	99.98	100	100	100	100	100	100
		基準値	3%増加	3.5%増加	4.0%増加		4.5%増加	5.0%増加

⑧水資源使用量削減	事務所	62.0	58.0	58.0	60.8	72.0	60.5	60.1
（m3）	現場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		基準値	0.5%削減	1.0%削減	2.0%削減		2.5%削減	3.0%削減

⑨清掃等地域貢献 （件）	会社	12.0	11.0	15.0	16.0	17.0	17.0	17.0
		基準値	2件増加	3件増加	4件増加		5件増加	5件増加

＊基準値のデータは、2009年度の4月～3月のデータをもとにして計算しております。

＊それぞれの項目の年間削減量は、0.5～1.0%の間を目標としております。

＊環境配慮商品・グリーン購入の件数と一般廃棄物・廃棄物の数値について、基準となる2009年の記録を取ってませんでした。
＊購入電力使用量の$CO_{2排出}$係数は0.569(kg-CO_2/kwh)を使用しております。

＊一般・産業廃棄物の再資源化率は2014年度（4月～3月）のデータをもとにして計算しております。

＊環境配慮商品・サービスの提供・施工の推進は環境に配慮したことを工事件数で割った数です。

＊清掃等地域貢献の基準値は2017年度を基準とし、現場と事務所の合計とする。

＊二酸化炭素排出原単位は2018年度を基準しています。単位はkg-CO2/売上高(万円)

環 境 経 営 計 画 （2021年度計画書）

＊環境活動計画は、できる限り事務所・現場双方で行う予定としています。

取り組み活動	取り組み計画	実施予定区域
・ 電気使用量削減について	*電源をこまめに切る *設定温度の調整（夏場は28度,冬場は20度） *服装の工夫による温度調整 単位： kwh	事務所 現場
・ 燃料使用量削減について	*効率的な運転をする *不稼働なエンジン停止 *急ブレーキしないよう気を付ける *ICT機械施工の推進 単位： L	事務所 現場
・ 二酸化炭素排出量削減について	*電気・燃料使用量の削減 *環境教育の強化・実施 *環境教育内容の充実 単位： kg-CO_2	事務所 現場
・ 水資源使用量削減について	*水を出し過ぎない *節水活動の推進 *水の使用時間を減らす 単位： m3	事務所 現場
・ 事務用紙使用量削減について	*再チェックを徹底する *ミスコピー紙の再利用 *出来るだけ少ない枚数で抑える 単位： 円	事務所 現場
・ 環境配慮商品 ・ サービスの提供 ・ 施工の推進	*環境に配慮した工事を行う *環境に配慮した道具を使用する *ICT施工の推進 単位： %	現場
・ グリーン購入の推進	*環境に悪影響を与える商品を購入しない *エコ商品の購入 *エコ商品の周知 単位： 品	事務所
・ 再資源化率について	*無駄のないよう使用 *廃棄物の適正な管理 *ゴミの分別 単位： %	事務所 現場
・ 地域貢献活動について	*現場の周りを綺麗にする *地域活動への参加 *地域活動の強化 単位： 件	会社

環 境 経 営 計 画 の 内 容

・計画期間 （令和3年6月1日～令和4年5月31日まで）

・〇実施予定（上段）　　・●実施（下段）【令和3年6月～令和4年5月】

目標	実行計画												
	計画・手段	責任者	運用スケジュール											
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
・電気使用量削減について	1. 電源をこまめに切る	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2. 設定温度の調整（夏場は28度,冬場は24度）	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	3. 服装の工夫による温度調整	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
・燃料使用量削減について	1. 効率的な運転をする	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2. 不稼働な時はエンジン停止	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	3. 急ブレーキしないよう気を付ける	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
・二酸化炭素排出量削減について	1. 電気・燃料使用量の削減	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2. 環境教育の強化・実施	西沢啓二			○				○					○
					●				●					●
	3. 環境教育内容の充実	西沢啓二			○				○					○
					●				●					●
・水資源使用量削減について	1. 水を出し過ぎない	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2. 節水活動の推進	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	3. 水の使用時間を減らす	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
・事務用紙使用量削減 について	1. 再チェック徹底する	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2. ミスコピー紙の再利用	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	3. 出来るだけ少ない枚数で抑える	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

・〇実施予定（上段）　　・●実施（下段）【令和3年6月～令和4年5月】

目標	実行計画												
	計画・手段	責任者	運用スケジュール										
			6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
・環境配慮商品 ・サービスの提供 ・施工の推進	1. 環境に配慮した工事を行う	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2. 環境に配慮した道具を使用する	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	4. ICT施工の推進	西沢啓二				○	○	○	○	○	○	○		
						●	●	●	●	●	●	●		
・グリーン購入の推進	1. 環境に悪影響を与える商品を購入しない	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2. エコ商品の購入	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	3. エコ商品の周知	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
・再資源化率について	1. 無駄のないよう使用	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	2. 廃棄物の適正な管理	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	3. 再使用できる物は再使用する	西沢啓二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
・地域貢献活動について	1. 地域活動の強化	西沢啓二				○			○○					○
						●			●●					●
	2. 地域活動への参加	西沢啓二				○		○○	○○					○
						●		●●	●●					●
	3. 現場の周りを綺麗にする	西沢啓二			○	○			○	○	○○			○
					●	●			●	●	●●			●
評価・結果	・全体的に取組みは実施できている。建設機械の効率的な運転はできている。 ・地域貢献活動の回数は計画通り実施できている。													

環 境 経 営 目 標 ・ 実 績

項目 （目標項目）（単位）	実施区	2021年度目標と実績比較 （令和3年6月～令和4年5月） 基準値 4月～3月	2021年度 目標値(6月～5月)	2021年度 実績値（6月～5月）	評価(達成率)
①二酸化炭素排出削減	事務所	11,006.1	10,786.0	9,133.6	118%
（kg-CO_2）	現場	142,009.2	139,169.0	94,984.6	147%
		基準値	2.0%削減		
二酸化炭素排出原単位 （CO2/売上高）	事務所	0.33	0.33	0.20	165%
	現場	3.55	3.50	2.05	171%
		基準値	1.5%削減		
②電気購入量	事務所	8,659.0	8,139.5	8,672.0	94%
（kwh）	現場	0.0	0.0	0.0	0%
		基準値	6.0%削減		
③燃料	事務所	2,678.7	2,518.0	1,810.0	139%
（L）	現場	62,063.7	58,339.9	38,031.7	153%
		基準値	6.0%削減		
④事務用紙削減量	事務所	71,600.0	67,304.0	65,400.0	103%
（円）	現場	0.0	0.0	0.0	0%
		基準値	6.0%削減		
⑤環境配慮商品 ・サービスの提供 ・施工の推進 （%）	現場	未設定	240%	240%	100%
		基準値	140%増加		
⑥グリーン購入の推進 （品）	事務所	未記録	11.0	11.0	100%
		基準値	11品新規購入		
⑦一般・産業廃棄物の 再資源化率推進 （%）	一般 廃棄物	45.95	47.79	46.66	98%
	産業 廃棄物	99.98	100	100	100%
		基準値	4.0%増加		

⑧水資源使用量削減	事務所	62.0	60.8	72.0	84%
（m3）	現場	0.0	0.0	0.0	0%
		基準値	2.0%削減		

⑨清掃等地域貢献	会社	12.0	16.0	17.0	106%
（件）					
		基準値	4件増加		

＊基準値のデータは、2009年度の4月～3月のデータをもとにして計算しております。

＊それぞれの項目の年間削減量は、0.5～1.0%の間を目標としております。

＊グリーン商品購入件数と一般廃棄物・廃棄物の数値について、基準となる2009年の記録を取っておりませんでした。

＊購入電力使用量のCO_2換算係数は0.569(kg-CO_2/kwh)を使用しております。

＊一般・産業廃棄物の再資源化率は2014年度（4月～3月）のデータをもとにして計算しております。

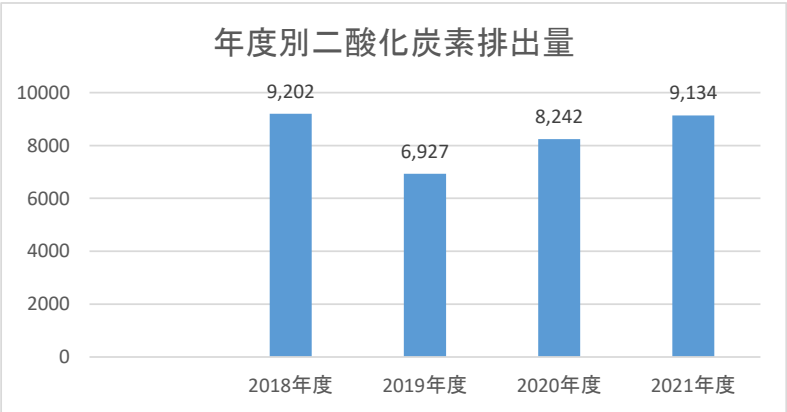
＊環境配慮商品・サービスの提供・施工の推進は環境に配慮したことを工事件数で割った数です。

＊清掃等地域貢献の基準値は2017年度を基準とし、現場と事務所の合計とする。

＊二酸化炭素排出原単位は2018年度を基準しています。単位はkg-CO2/売上高(万円)

事務所の二酸化炭素排出量の年度別推移　単位（kg-CO2）

対象年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
二酸化炭素排出量	9,202	6,927	8,242	9,134



環境経営目標に対する実績とその評価

〈運用期間　令和3年6月1日～令和4年5月31日〉

取り組み計画	実施区	現在状況	取組結果並びに評価
・電気使用量について *電源をこまめに切る *設定温度の調整 （夏場は28度,冬場は24度） *服装の工夫による温度調整 単位： kwh	事務所	目標 → 結果 8139.5 → 8672.0 （目標達成率94%)〇	取組みにより夏の電気使用量は減らすことが出来た。冬の暖房用エアコンの電気使用量を減らしていく。
	現場	目標 → 結果 0 → 0 （変化なし）	電気を使用する場合は節電する。
・燃料使用量について *効率的な運転をする *不必要なエンジン停止 *暖房の使用を控える 単位： L	事務所	目標 → 結果 2,518.0 → 1,810.0 （目標達成率139%)◎	事務所は効率な車移動ができ、削減となった。
	現場	目標 → 結果 58,339.9 → 38,031.7 （目標達成率153%)◎	受注工事のICT化機械施工により軽油使用量を大幅に減少できた。継続してICT化機械施工に取り組む。
・二酸化炭素排出量について *電気・燃料使用量削減 *環境教育の強化・実施 *環境教育内容の充実 単位： kg-CO_2	事務所	目標 → 結果 10,786 → 9,134 （目標達成率118%)◎	環境教育により二酸化炭素排出量削減を意識することが出来てきた。これからも二酸化炭素排出料を減らす取り組みを続けていく。
	現場	目標 → 結果 139,169 → 94,985 （目標達成率147%)◎	
・二酸化炭素排出原単位 単位： kg-CO_2／売上高	事務所	目標 → 結果 0.33 → 0.20 （目標達成率165%)◎	事務所は燃料使用量の削減により達成できている。
	現場	目標 → 結果 3.50 → 2.05 （目標達成率171%)◎	受注工事のICT化機械施工により省エネ、省燃費、省力化、工事の効率化になっている。 継続してICT化機械施工に取り組む。
・水資源使用量について *水を出し過ぎない *節水の推進 *水の使用時間を減らす 単位： m3	事務所	目標 → 結果 60.8 → 72.0 （目標達成率84%)〇	取り組みにより昨年度より水の使用量を減らすことが出来た。これからも無駄遣いしないようにしていく。
	現場	目標 → 結果 0 → 0 （変化無し）	現場では使用していない。
・事務用紙使用量について *再チェックを徹底する *ミスコピー紙の再利用 *出来るだけ少ない枚数で 単位： 円	事務所	目標 → 結果 67,304 → 65,400 （目標達成率103%)◎	取り組みにより紙の使用量を減らすことができた。これからも減らしていく。
	現場	目標 → 結果 0 → 0 （変化無し）	現場では、使用していない。

・環境配慮商品・サービスの提供・施工の推進 *環境に配慮した工事を行う *環境に配慮した道具を使用する *ICT施工の推進 単位： %	現場	目標 → 結果 240% → 240% （目標達成率100%）◎	今までにしてきたこと以外にアイドリングストップ付き重機を使用し環境に配慮した工事を行うことが出来た。 ICT化機械施工が増え、より省エネ、少燃費、施工の効率化となっている。
・グリーン購入の推進 *環境に悪影響を与える商品を購入しない *エコ商品の購入 *エコ商品の継続的購入 単位： 品	事務所	目標 → 結果 11 → 11 （目標達成率100%）◎	エコ商品から購入することができた。これからもエコ商品を購入していく。
・再資源化率について *無駄のないよう使用 *廃棄物の適正な管理 *ゴミの分別 単位： %	事務所	目標 一般 結果 47.79 → 46.66 （目標達成率98%）○	現場で産業廃棄物はマニフェストにより適正な管理を行い再利用することが出来た。事務所のゴミは分別などを行い再資源化量をもっと増やしていく。
	現場	100 産廃 → 100 （目標達成率100%）◎	
・地域貢献活動について *現場の周りを綺麗にする *地域活動への参加 *地域活動の強化 単位： 件	会社	目標 → 結果 16 → 17 （目標達成率106%）◎	現場周辺の清掃等、地域貢献活動を行うことは出来た。これからはもっと地域貢献活動を行っていく。

目標達成評価基準

◎：100%以上　○：80%～100%未満　△：60%～80%未満　×：60%未満

環 境 経 営 目 標 に 対 す る 実 績 と そ の 評 価(総括)

・二酸化炭素排出量について

結果:　事務所　達成　　現場　達成

受注工事のICT化機械使用により軽油使用量を大幅に減少できた。
事務所の電気使用量は夏の使用量をより多く減らすことが出来た。冬の暖房用エアコンの電気使用量を減らしていく。

・二酸化炭素排出原単位につい

結果:　事務所　達成　　現場　達成

売上高は増加したが、受注工事のICT化機械使用により省エネ、省燃費、工事の効率化により達成できた。継続してICT化機械施工に取り組む。

・水資源使用量について

結果:　事務所　略達成

コロナ感染症対策、現場の粉じん対策により水の使用量が増加した。これからも無駄な使用がないようにする。

・事務用紙使用量について

結果:　達成

活動により事務用紙使用量を減らすことが出来、目標を達成することが出来た。これからも削減していきたい。

・環境配慮商品・サービス
の提供・施工の推進

結果:　達成

エコモード、アイドリングストップ付き重機を増やすことが出来た。ICT施工でこれからも工事ごとの環境配慮数を増やしていく。

・グリーン購入の推進

結果:　達成

現場や事務所で必要な物を購入する時、エコ商品から選ぶことが出来た。これからもエコ商品から選んでいきたい。

・再資源化率について

一般廃棄物について　結果:　略達成

ゴミの分別により再資源化に可能なゴミを分別することが出来た。これからも再資源化量を増やしていく。

産業廃棄物について　結果:　達成

廃棄物の処理をマニフェストで確認し、資源が適切に処理され再資源化しているのを確認した。これからも廃棄物を適切に管理し再利用していく。

・地域貢献活動について

結果:　会社　達成

地域貢献活動の回数は計画通り実施した。これからは現場周辺の清掃などを増やしていく。

次年度の取り組み内容（2022年度計画書）

＊環境経営計画は、できる限り事務所・現場双方で行う予定としています。

取り組み活動	取り組み計画	実施予定区域
・ 電気使用量削減について	*電源をこまめに切る *設定温度の調整（夏場は28度,冬場は20度） *服装の工夫による温度調整 単位： kwh	事務所 現場
・ 燃料使用量削減について	*効率的な運転をする *不稼働なエンジン停止 *急ブレーキしないよう気を付ける *ICT機械施工の推進 単位： L	事務所 現場
・ 二酸化炭素排出量削減について	*電気・燃料使用量の削減 *環境教育の強化・実施 *環境教育内容の充実 単位： kg-CO_2	事務所 現場
・ 水資源使用量削減について	*水を出し過ぎない *節水活動の推進 *過剰な水使用を控える 単位： m3	事務所 現場
・ 事務用紙使用量削減について	*再チェックを徹底する *ミスコピー紙の再利用 *出来るだけ少ない枚数で抑える 単位： 円	事務所 現場
・ 環境配慮商品 ・ サービスの提供 ・ 施工の推進	*環境に配慮した工事を行う *環境に配慮した道具を使用する *ICT施工の推進 単位： %	現場
・ グリーン購入の推進	*環境に悪影響を与える商品を購入しない *エコ商品の購入 *エコ商品の周知 単位： 品	事務所
・ 再資源化率について	*無駄のないよう使用 *廃棄物の適正な管理 *再使用できる物は再使用する 単位： %	事務所 現場
・ 地域貢献活動について	*現場の周りを綺麗にする *地域活動への参加 *地域活動の強化 単位： 件	会社

環境関連法規等の取りまとめ及び遵守チェック表

- 法令データ提供システム等： http://law.e-gov.go.jp/
- チェック作成表： 2022年6月4日　（作成者： 西本拓矢）

環 境 事 務 局
印

- 遵守評価実施日： 2022年6月4日
- 遵守評価氏名： 西沢　啓二
- 承認実施日： 2022年6月4日
- 承認者氏名： 西本日出世

・過去3年間、環境関連法規に対する違反、行政当局からの指摘、並びに訴訟はありません。

- 法規については代表的な物のみ表記します。
- 遵守評価は年2回実施する。

環境法規	内容・規制	法令の最新改定日	条例 法律	摘要箇所	遵守 チェック
・環境基本法	事業活動に伴う公害を防止し、自然活動を保全する。また、製品使用又は廃棄の際に出る環境への負担を軽減する。	・平成29年5月22日 ・環境省告示第47号	法 律	事務所・現場	○
・グリーン購入法	使用する製品を購入する際、価格や品質、デザインだけではなく環境への負荷が出来るだけ小さい物を購入する。	・平成27年9月11日 ・法律第66号	法 律	事務所・現場	○
・環境配慮促進法	事業活動による環境保全について配慮が適切になされていることを確保するため、環境報告書を作成・公表をもとめる。	・平成17年7月26日 ・法律第87号	法 律	現場	○
・廃棄物処理法	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。 産業廃棄物管理票の適切な管理を行い翌年度の6月30日までの期間に都道府県知事へ提出する。	・平成29年6月16日 ・法律第61号	法 律	事務所・現場	○
・騒音規制法	建設工事等に伴って発生する騒音について必要な規制を行うとともに、自動車騒音に係る許容限度を定めること等により、生活環境,国民の健康を確保する。	・平成26年6月18日 ・法律第72号	法 律	事務所・現場	○
・消防法	火災の予防、警戒及び鎮圧し、国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、災害による被害を軽減する。	・平成30年6月27日 ・法律第67号	法 律	事務所・現場	○

・家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫等の品目に関して、収集・運搬・再商品化を実施し、廃棄物を減量し、資源の有効利用を推進します。	・平成27年7月17日 ・法律第58号	法律	事務所	○
・振動規制法	建設工事に伴って発生する相当範囲にわたる振動について必要な規制を行うとともに、道路交通振動に係る要請の措置を定めること等により、生活環境を保全し、国民の健康の保護に資することを目的とする。	・平成26年6月18日 ・法律第72号	法律	事務所・現場	○
・徳島県生活環境保全条例	騒音発生施設の設置届提出。	・平成28年7月8日 ・規則第57号	条例	事務所・現場	○
・那賀町景観条例	自然環境に配慮した美しい景観の形成に努め、ゆとりと安らぎを与える町づくりの実現に寄与することを目的とする	・平成18年12月20日 ・条例第31号	条例	事務所・現場	○
・那賀町廃棄物清掃に関する条例	廃棄物の排出を抑制し、再生利用を促進するとともに、廃棄物を適正に処理し、あわせて地域の清潔を保持することにより生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、もって町民の健康で快適な生活を確保することを目的とする。	・平成25年3月25日 ・条例第15号	条例	事務所・現場	○
・徳島県脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策推進条例	脱炭素社会の実現に向けた気候変動対策の推進。県、県民、事業者等が一体となって気候変動対策の推進を図り、もって、将来の県民に良好な環境を継承する。	・平成29年1月1日	条例	事務所・現場	○
・浄化槽法	浄化槽の処理後でなければ公共用水域に排水禁止。	・平成26年6月13日 ・法律第69号	法律	事務所・現場	○
・フロン排出抑制法	地球温暖化とオゾン層破壊の原因となるフロン類の排出抑制を行う。業務用エアコンと建設機械のエアコンを3ヶ月に1回簡易点検を行う。	・平成26年12月10日	法律	事務所・現場	○
・現場説明書	公害対策			事務所・現場	○

企業としての取り組み

＜ 清掃作業 ＞

普段使用している道路や道路の周辺に対し清掃作業を行い、清潔な環境を保つ努力を年に数回行っています。

＜ ・環境配慮商品・サービスの提供・施工の推進 ＞

環境に配慮した商品を使用し、環境に配慮した施工を行っています。

代表者による全体評価と見直しの結果

・ 代表者に環境レポートまた取り組みの結果から意見をいただきました。

評価実施日： 2022年6月25日　　評価者： 西本日出世　　印

・環境管理責任者として下記のことを代表者に伝えた。

- 環境目標とそれに対する12ヶ月（6月～5月）の実績
- 12ヶ月（6月～5月）の実績に対する環境管理責任者としての評価
- 来年度のむけての環境目標の進め方
- これからの、会社としてのエコアクションの取り組み方
- 環境関連法規制の順守、外部からの苦情等について

・環境目標と活動計画についての代表者の評価と見直し・指示

今年度の環境活動は、現場のICT機械化施工により燃料使用量が削減でき、二酸化炭素排出量削減目標が達成できた。

ICT機械化施工を推進し、省燃費化、施工効率化に取り組む。

工事量の増減又工事の内容の変化等、単純に前年度との比較は出来ないが、会社全体でエコアクションに取り組んで成果を出していくことが、環境経営の目標である。

2017年版に対応した環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を構築して継続的な環境経営の改善を推進する。

見直し・指示

・環境経営方針　現状の方針で見直しはしない。

・環境経営目標・環境経営計画　目標の達成率により見直が必要
環境経営計画は全従業員が認識して継続的に取り組むこと。

・実施体制　事業活動に大きな変動はない。現状の体制で実施していくこと。